



ふくち基弘

県政だよりvol.83

- 418億円の一般会計補正予算等が成立
- 12月定例会における主な質問内容
- 2022年度当初予算編成にあたり要望書を提出

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

連絡先 : ふくち基弘事務所
 広島県広島市西区己斐上2-36-7
 電話/FAX 082-271-5369

418億円の一般会計補正予算等が成立

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2021年12月9日から21日までの日程で広島県議会12月定例会が開かれました。当初、新型コロナウイルス感染症対策等として一般会計104億円の補正予算等が提案されましたが、平成30年7月豪雨災害・令和3年7月・8月豪雨災害対策の公共事業等にかかる314億円の補正予算が追加提案され、一般会計総額418億円の補正予算等について審議の結果、可決成立しました。また、人事委員会勧告に基づき県職員の期末手当を減額する条例など、予算以外25議案についても可決成立しました。さらに、9月定例会から継続審査としていた「令和2年度決算」について認定されました。



12月定例会中に総務委員会で質疑する様子

総務委員会でふくち基弘は、県職員が感染症や大規模災害などにより業務過多となっていることや、業務に関する過失に対し職員個人が訴えられるケースが増えていることなどにふれ、過失が起こらないような人員配置や県職員の過失に対し県庁組織として対応することを求めました。また、来年度の県政運営に関し、ひとり親家庭などの経済的困窮や不安定な雇用環境などにおられる方が増加したり、女性の自殺が増加するなどの課題がコロナ禍で顕在化しており、夢や希望を持って挑戦したり、誇りを持つことができない方々への支援を要望しました。

令和3年度12月補正予算の主な内容

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策……………5億円
- 新型コロナウイルス感染症患者の入院病床の確保……………48億円
- 陽性無症状患者等の宿泊療養施設の確保……………65億円
- 人事委員会勧告をふまえた特別給の改定……………▲19億円
- (追加提案)
- 高病原性鳥インフルエンザへの緊急対応……………11億円
- ワクチン接種体制の整備・PCR検査体制の強化……………138億円
- 平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興……………5億円
- etc.

議員定数等調査特別委員会を設置

令和2年に行われた国勢調査にもとづき、令和5年4月に行われる広島県議会議員選挙に向けて議員定数見直しの議論を行うため、12月定例会で議員定数等調査特別委員会を設置しました。

議員定数等調査特別委員会委員

- | | | | |
|-----|-------------|--------------|---------------|
| 委員長 | 松岡 宏道(福山市) | 副委員長 | 東 保幸(広島市安佐北区) |
| 委員 | 林 大蔵(広島市中区) | 畑石 顕司(広島市東区) | 西本 博之(東広島市) |
| | 三好 良治(福山市) | 瀧本 実(広島市佐伯区) | 佐藤 一直(広島市中区) |
| | 森川 家忠(竹原市) | 田川 寿一(広島市西区) | 安井 裕典(廿日市市) |
| | 高山 博州(尾道市) | | |

12月定例会における主な質問内容

柿本忠則議員(広島市東区)

(質問) 介護の基本的な学びを得たプロフェッショナルな人材を育成し、確保できる制度の推進による、福祉・介護職場の魅力向上に向けた今後の取組について伺う。

(答弁) 雇用管理の改善や職員の能力開発など、より良い職場環境づくりに向けた支援、互いに取組を高め合う機会の提供、法人の大規模化や協働化促進、優良法人の認証制度の推進等に取り組みつつ、介護業界全体のイメージアップを図り、選ばれる業界となることで人材の確保・定着につなげてまいりたい。

金口巖議員(尾道市)

(質問) 経済的困窮や不安定な雇用環境など、コロナ禍でより厳しい環境に置かれている方たちに寄り添った施策が求められるが、どういったスタンスで臨むのか。

(答弁) 新型コロナ対応と社会・経済の発展的回復に注力するとともに、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に基づき、県民の皆様の不安を軽減する取組を進め、「安心」につなげることで、お一人お一人が夢や希望に「挑戦」し、それぞれの欲張りなライフスタイルが実現できる広島県となるよう、全力で取り組む。

質問の詳細については、広島県議会のホームページをご覧ください。

2022年度当初予算編成にあたり要望書を提出

要 望 項 目

- 新型コロナへの対応については、引き続き変異株等の不測の事態にも対応できるよう、保健・医療提供体制の整備に努めること。
- コロナ禍におけるカスタマーハラスメントは増加傾向となっているため、啓発活動の実施等の対策を警察本部と連携して行うこと。
- 介護従事者の確保のため、処遇改善する施策を推進するとともに、潜在介護職員の復職支援、資格取得に対する研修費補助等を強化すること。
- 広島高速4号線と山陽自動車道の接続による利便性の向上及び周辺一般道の渋滞緩和
- 己斐上2丁目信号のLED化に伴い廃止された補助信号の再設置など111項目



会派「民主県政会」として、「2022年度当初予算編成等に関する要望書」を湯崎知事に提出し、意見交換を行いました。

その他の活動

JR西広島駅 自由通路・橋上駅舎 開業

JR西広島駅の自由通路・橋上駅舎が12月19日に開業しました。前日に行われた記念式典に参列させて頂きました。



総務委員会にて県内調査

10月11日、12日に総務委員会にて県内調査を行いました。庄原市のひろしま県民の森や東城商工会の中山間地域振興やMaaSの取組、福山市の東部工業技術センターにおけるデジタル技術に係る企業支援の取組、東広島市役所におけるSDG'sに関する取組、安佐南区の東洋電装株式会社におけるデジタル技術を活用した新しい「生活見守り」について調査を行いました。

